



Clayton クレイトン

組立前の確認事項チェックリスト

■組立をはじめる前に。。。

●組立をはじめる前に、組立説明書（本書）をよく読み、内容を理解してから、組立を開始してください。それがスムーズに作業を進めるコツでもあり、簡単にきれいに組み立てるポイントです。

●使用している木材はツーバイ材ですが、天然の木なので、割れやそり、ヤニ、ささくれなどが発生する場合があります。木の特性を十分理解した上で、組み立ててください。また、木肌がきれいな面を外側にするときれいに仕上がります。

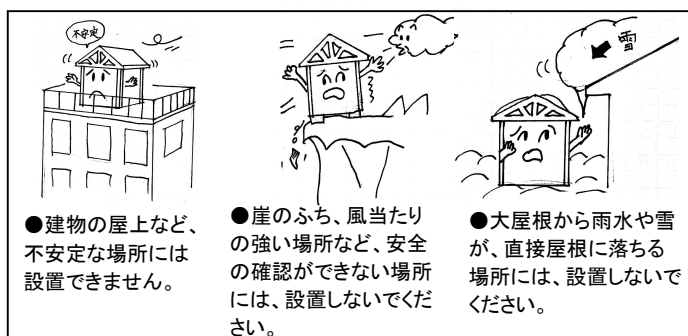
■パーツの形状、数量を確認してください。

●パーツリストを参考に、数量がすべてそろっているかどうか、確認してください。万が一、不足している場合はお電話ください。（TEL:011-788-9464）すぐに発送いたします。

●釘や金物は十分な数量を用意していますが、万一足りなくなった場合は、最寄の金物店等でお買い求めください。また、当社で販売もいたしておりますので、お気軽にご用命ください。

■設置場所の確認

●以下のところへの設置は避けましょう。



■組立に必要な道具



■道具を使うときは、周囲に注意し、安全を心がけましょう。

■さあ、あなただけのシンプルホームキットの組み立てをはじめましょう！



パ ー ツ リ ス ト

■ パーツの種類、数量をご確認ください

● 梱包をあけ、下記のパーツや数量がそろっているかご確認ください。

パーツリスト

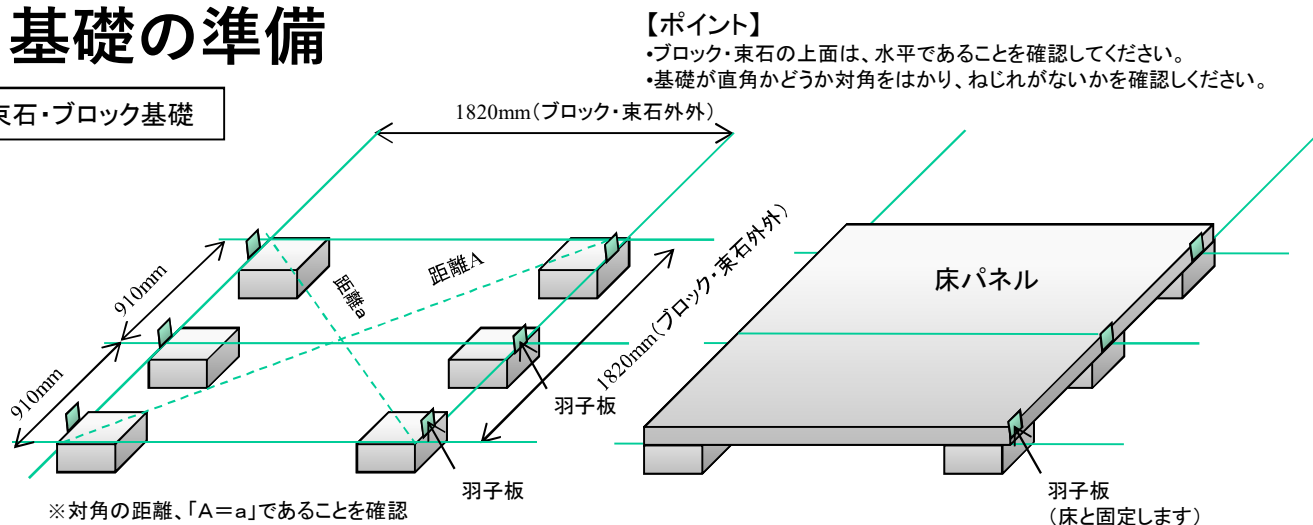
クレイトン

床パネル						
	床パネル-1	1	枚		910x1820	
	床パネル-2	1	枚		910x1820	
	床板	2	枚	針葉樹合板	15mm	
パネル						
	リアパネル	2	枚			組立品
	サイドパネル	2	枚			組立品
	フロントパネル	2	枚			組立品
屋根垂木						
	垂木	2	本	2x4		2組分
	野地板A	2	枚	針葉樹合板	24mm	
	野地板B	2	枚	針葉樹合板	24mm	
	野地板C	2	枚	針葉樹合板	24mm	
	シングル	3	包	プラス9枚		
	ルーフィング	4	枚			
	両面プチルテープ	1	個			
トリム材						
	コーナートリム	4	組	松材		
	破風	2	本	松材		長さ現物に合わせて、カットしてください。
ドア材						
	ドア本体	1	枚			横枠、ピアノ丁番付
	ドア上枠	1	本	2x4		
	ドア戸当たり	3	本			
	ハンドルセット	1	組			
釘・金物・その他						
	コースビス75mm	1	袋		フレーミング用	
	コースビス41mm	1	袋		床用	
	コースビス65mm	1	袋		野地板用	
	モエン釘32mm	1	袋		外壁用	
	スリムビス(40mm)	1	袋			
	スリムビス(25mm)	1	袋			
	シングルネール	1	袋		シングル用	
	色補修セット	1	式			
	組立説明書(本書)	1	冊			
	保証書	1	冊			

※ パーツの数量が足りない場合や、内容がわからない場合は、お電話ください。
(TEL: 0 1 1 - 7 8 8 - 9 4 6 4)

■基礎の準備

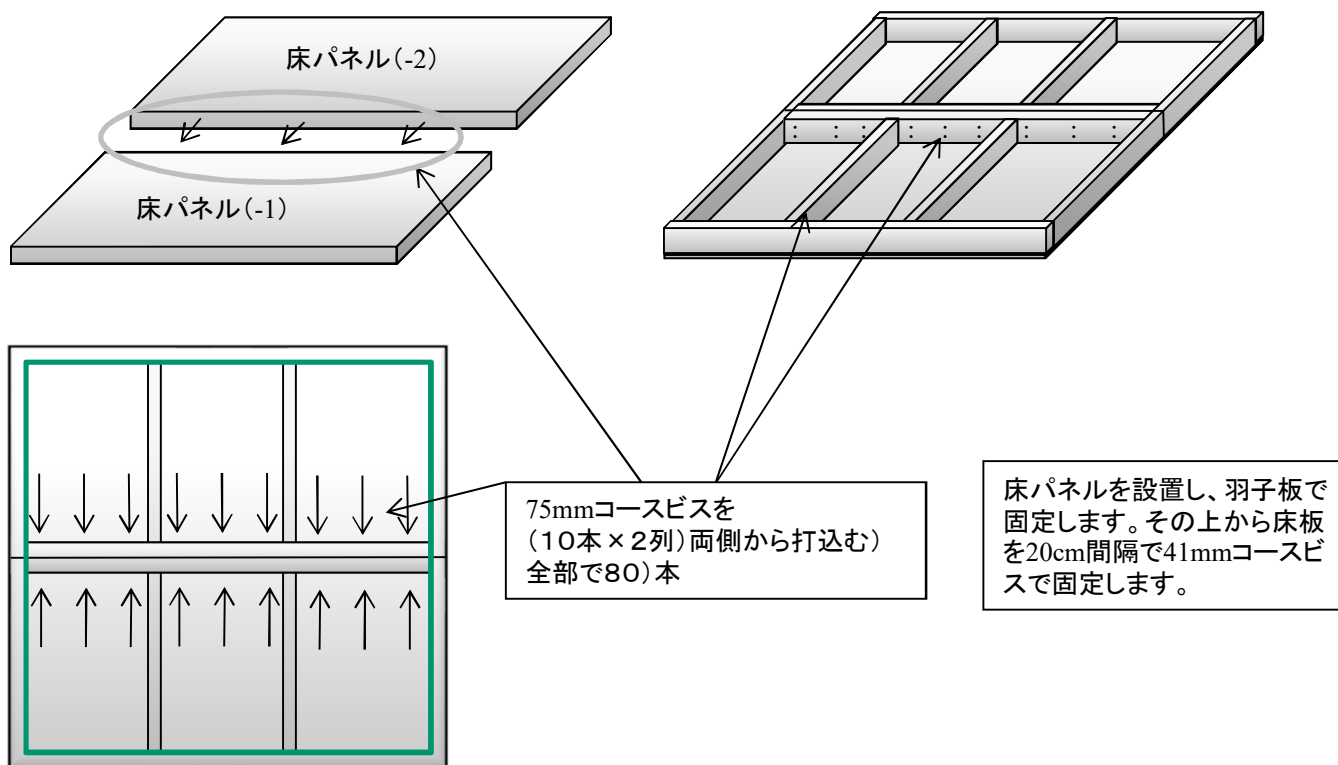
■東石・ブロック基礎



①床パネルの組立

【ポイント】

- ・床面がずれないように床パネルをそろえてください。
- ・75mmビスは必ず両面からしっかりと打ち込んでください。
- ・パネルをひっくり返すときは、まわりに十分注意して、2名以上で行ってください。



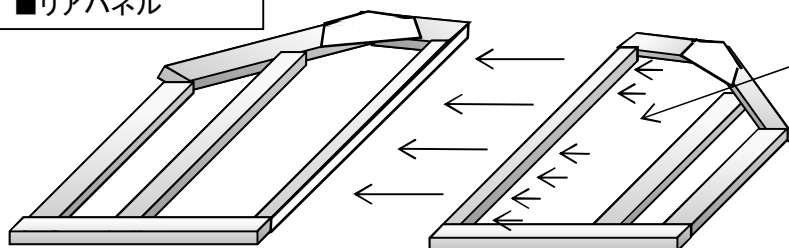
②壁パネルの組立

【ポイント】

・2分割で梱包されているリアパネルと、フロントパネルを組み立てます。

組立てられてお届けすることもあります。

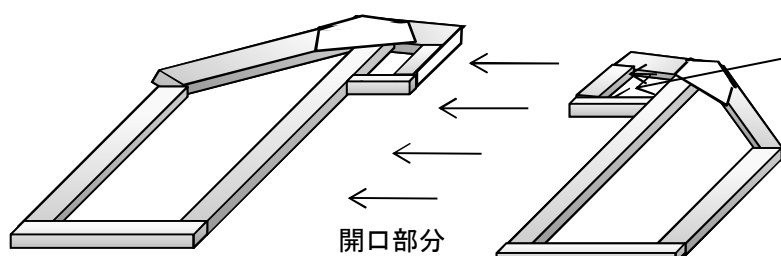
■リアパネル



75mmコースビス 20cm間隔
全部で10本

組立てられてお届けすることもあります。

■フロントパネル



75mmコースビス 20cm間隔
全部で5本

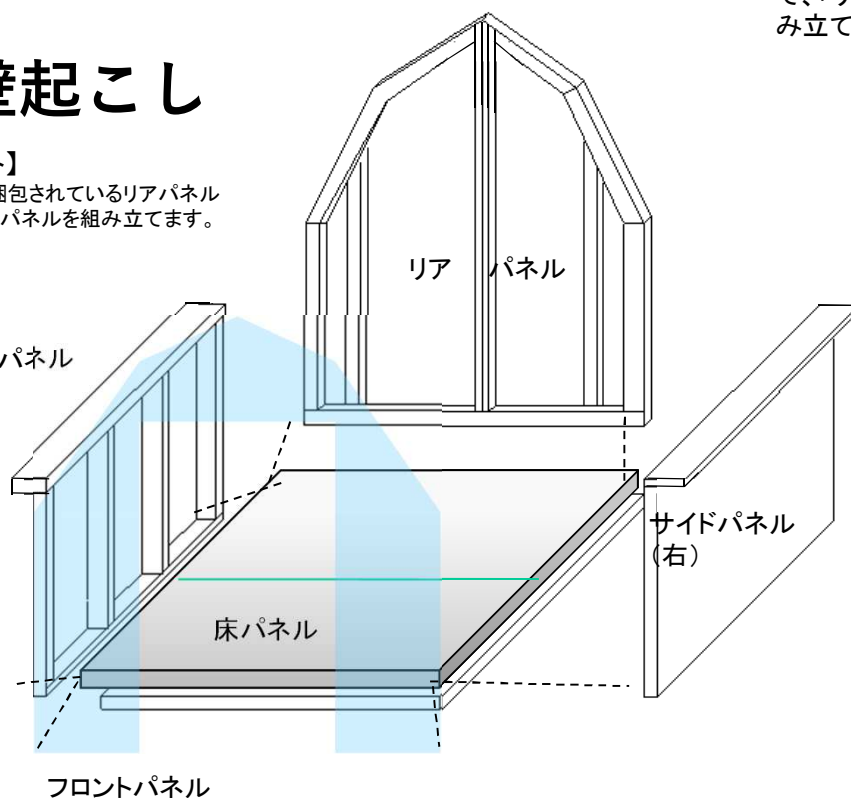
※上記はさきにパネルを組み立ててから壁起こしを行う作業の流れですが、1/2ずつ建ててもかまいません。その場合リアパネルから壁を起こしてください。
※リアパネルは「リアパネル1」を先に立てて、「リアパネル2」をスライドさせながら組み立ててください。

③壁起こし

【ポイント】

・2分割で梱包されているリアパネルと、フロントパネルを組み立てます。

サイドパネル
(左)

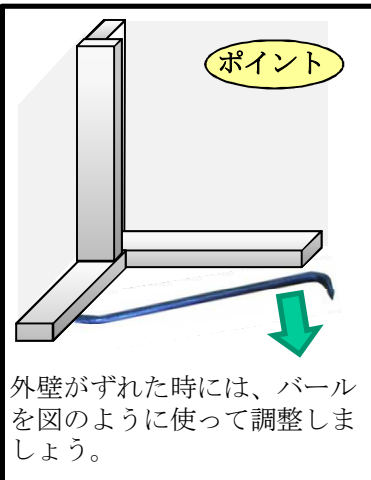


サイドパネル
(右)

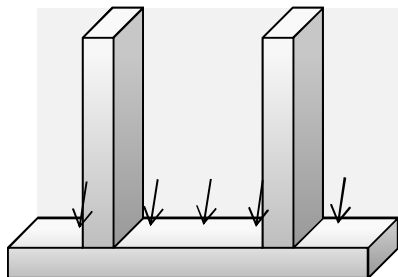
床パネル

フロントパネル

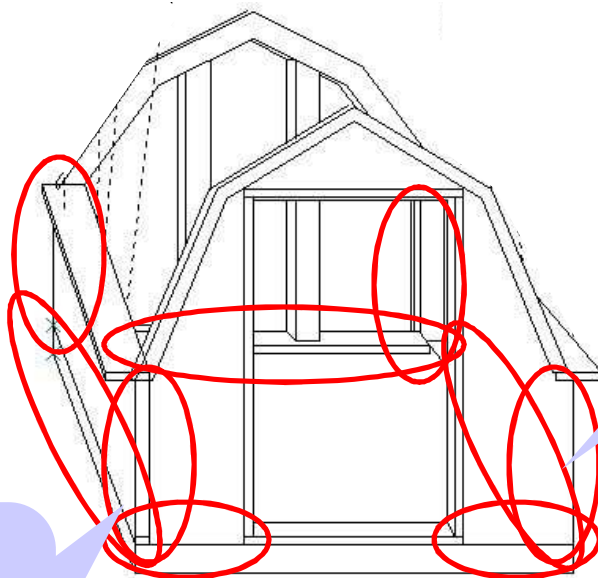
ポイント



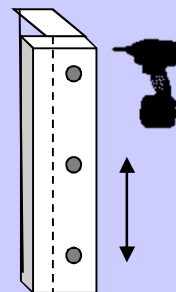
外壁がずれた時には、パールを図のように使って調整しましょう。



75mmビスを柱と柱の間で、3本ずつとめます。



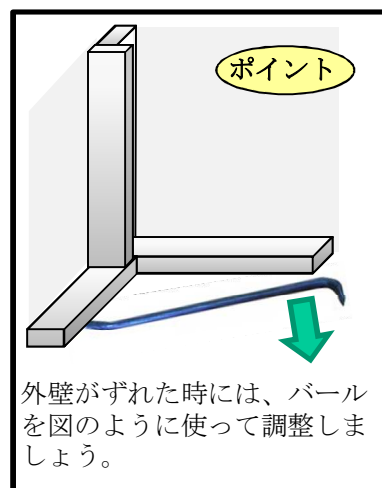
外壁が床にかぶさります。



75mmビスを15cm間隔でとめます。

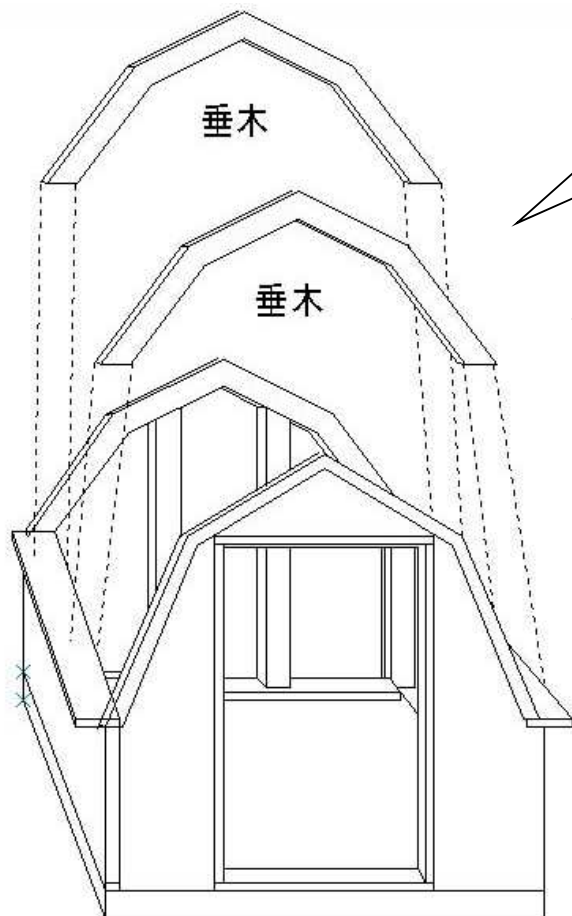


内側から、床・壁・天井のスタッドに15センチ間隔で75ミリビスを打ちます。



外壁がずれた時には、バーを図のように使って調整しましょう。

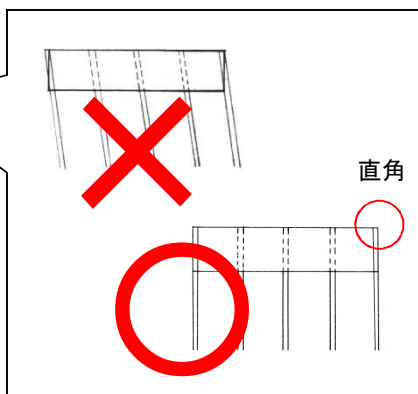
④屋根の組立



下枠から1本、

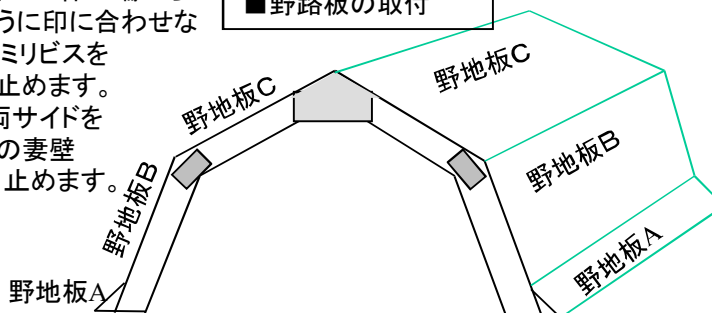


垂木の上から2本



垂木の角が上枠の端から出ないように印に合わせながら、75ミリビスを3本ずつ止めます。2組とも両サイドを止め、前の妻壁パネルも止めます。

■野路板の取付

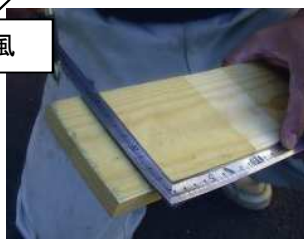


■破風の取付

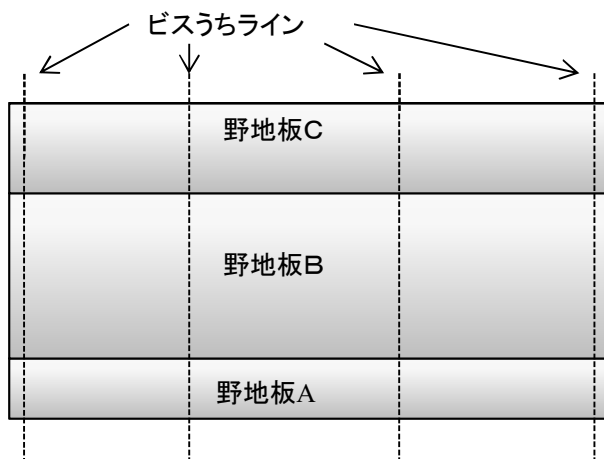
破風をスリムビス40mmで1列ずつ、15センチ間隔に止めます。反対側の破風も同じように取付ます。



軒に『破風』を当て、長さを測り、印を付けます。



印をつけたところを直角にカットします。

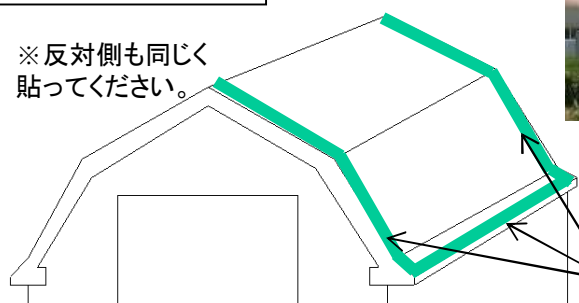


上から垂木に沿って、15センチ間隔で65ミリのビスを打ちます。

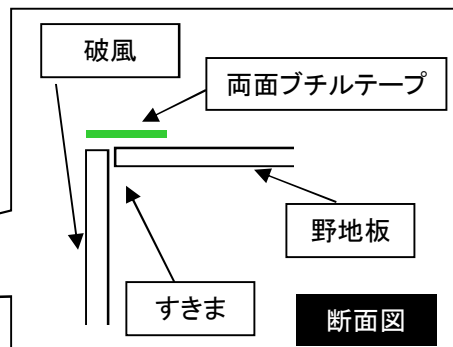
⑤屋根下地

■両面プチルテープ

※反対側も同じく貼ってください。



両面プチルテープ

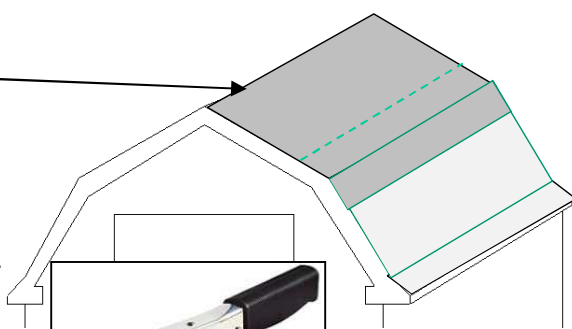


野地板の破風・トリムの間に『両面プチルテープ』を貼ります。軒先は、特に丁寧に貼りましょう。

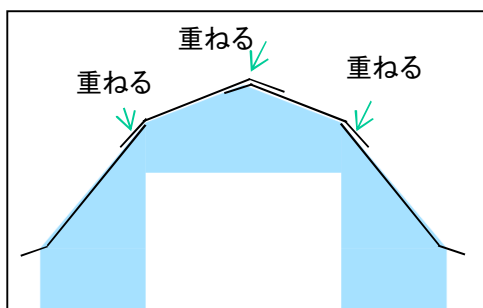
■ルーフィング

【アスファルトルーフィング】

野路OSB合板の上から、アスファルトルーフィングを貼ります。防水のために貼りますが、右図のように、下から重ねて貼ります。

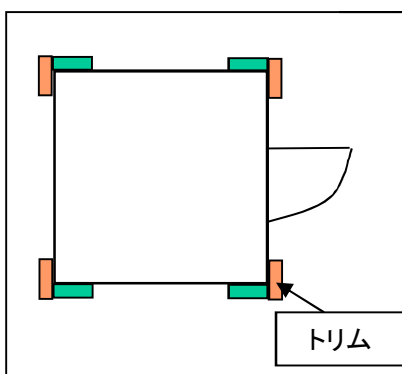


ハンマータッカー



アスファルトルーフィングを上図のように重ねるように、野路OSB合板に貼ります。タッカーステープルまたは、ハンマータッカーを使って、アスファルトルーフィングを固定していきます。

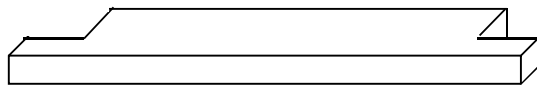
■トリム



図のようにトリムを取り付けます。スリムビス25mmで20センチ間隔に止めます。

⑤屋根下地

■ステップ1
上枠を取り付けます。

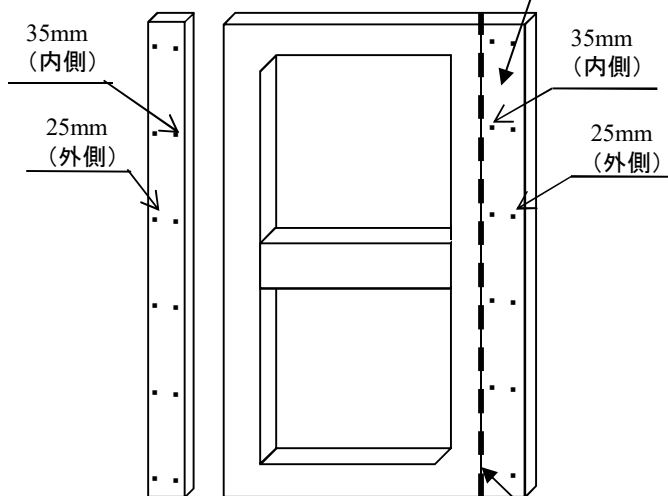


2x4上枠



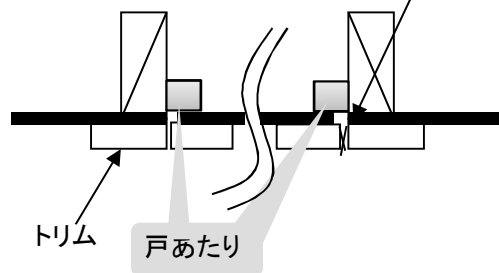
■ステップ2

ドアを取り付けます。ピアノ丁番がついているほうが吊元になります。スリムビス35mmと25mmを、20cm間隔で止めます。



■ステップ3

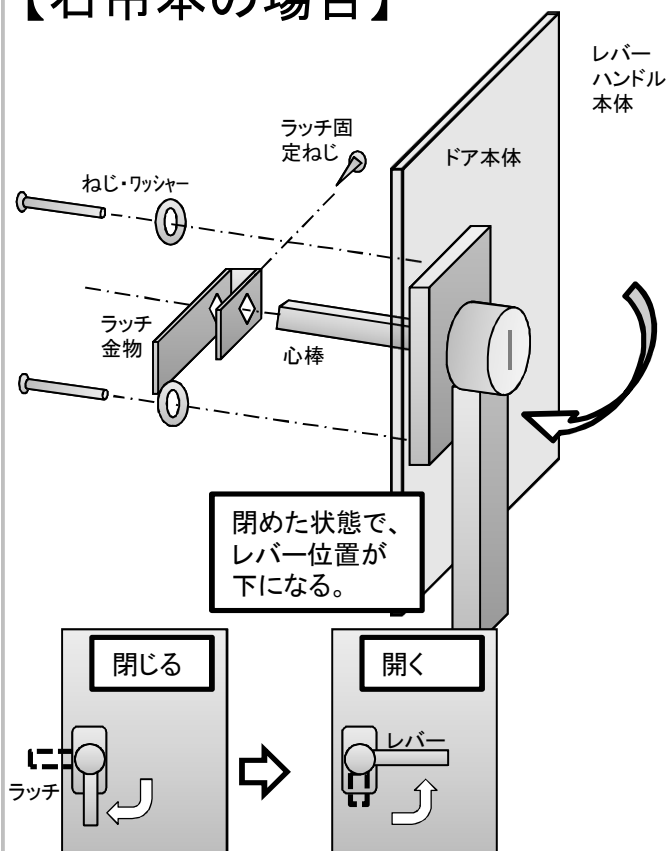
戸あたりは、2x4枠の内側に3方（左・右・上）に取り付けます。長さを開口にあわせてカットしてください。



※左吊もとの場合は、上記の逆になります。

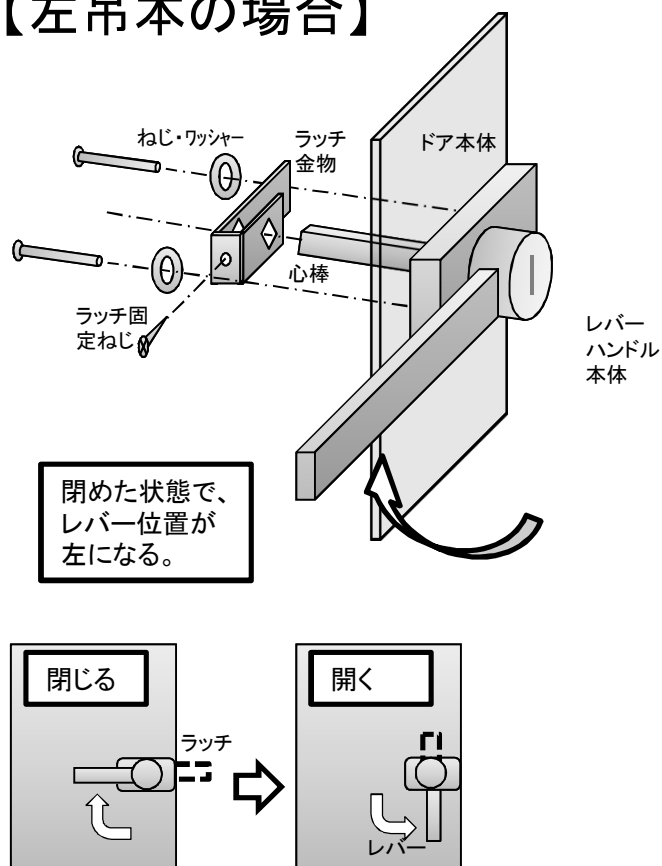
ドア取手の取付

【右吊本の場合】



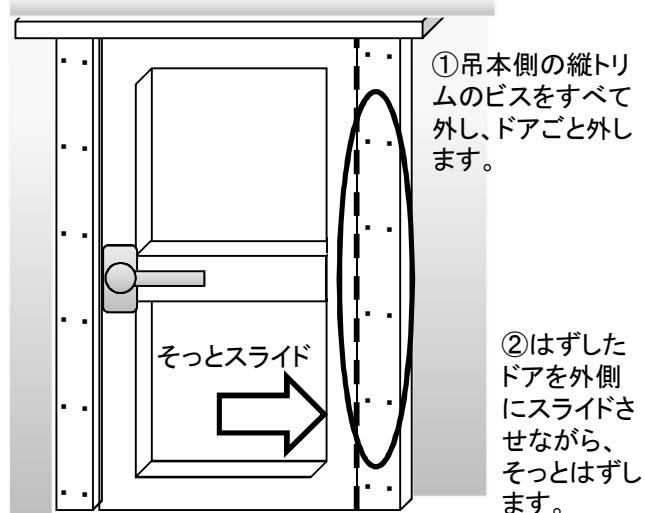
※右吊の場合は閉めた時にレバーが下側にきます。
また、レバーの台座は縦に取り付けます。

【左吊本の場合】



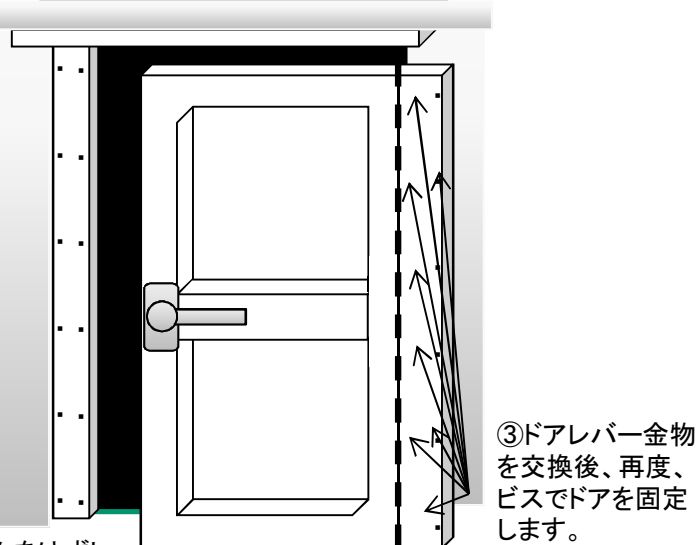
※左吊の場合は閉めた時にレバーが左側にきます。
また、レバーの台座は横に取り付けます。

【鍵が原因でドアが開かなくなった場合(両開・片開共通)】



②はずしたドアを外側にスライドさせながら、そっとはずします。

※両開きドアの場合は、ドアとドアの間のめし合わせのトリムをはずしてから、縦トリムのビスを外すとスムーズに作業ができます。

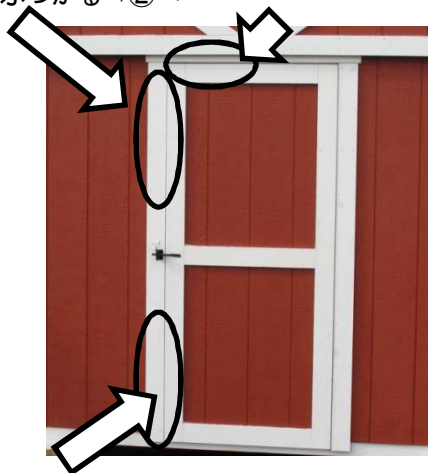


ドアの調整

■ステップ1

ドアのどこが渋くなっているかを確認

- ②ドアの上の部分と横がぶつかる→②へ
①ドアと上枠がぶつかる→①へ

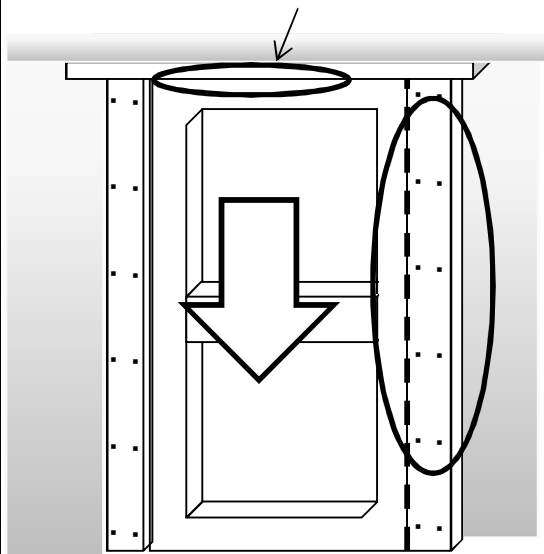


- ③ドアの下の部分と横がぶつかる→③へ

①ドアと上枠がぶつかる場合

ドアを下に下げます。

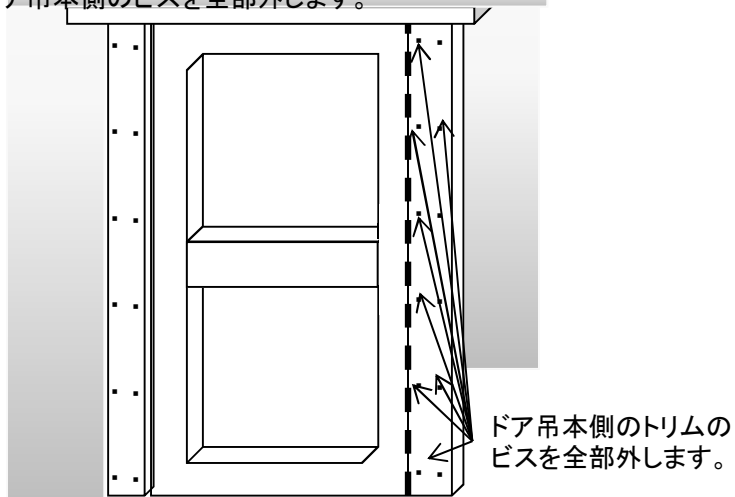
5mm程度さげて、ドアが上枠にぶつからない位置で、再び吊本側のビスを取り付けます。



ビス止めします。

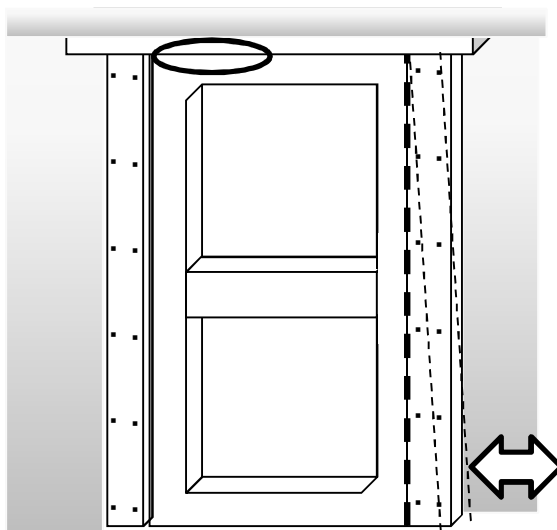
■ステップ2

ドア吊本側のビスを全部外します。



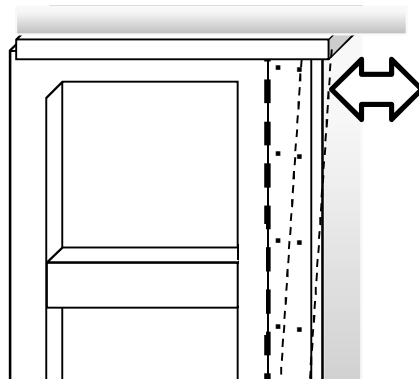
②ドアの上と横枠がぶつかる場合

ドアが上枠にぶつからない位置で、下枠を外にずらして、調整し、再び吊本側のビスを取り付けます。。

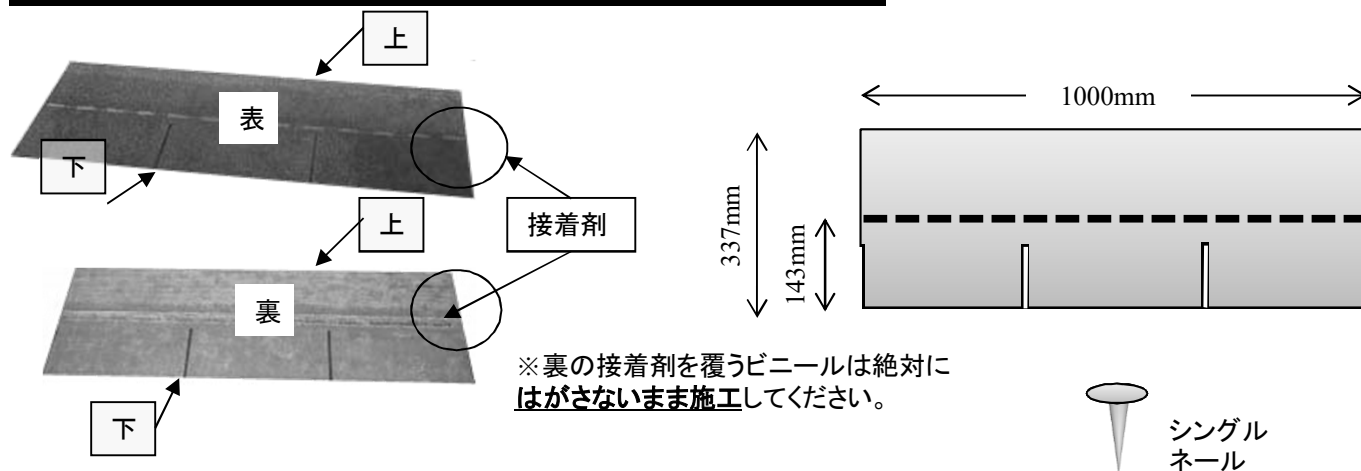


③ドアの下と横枠がぶつかる場合

②の反対の要領です。上枠を外にずらして、調整し、再び吊本側のビスを取り付けます。。

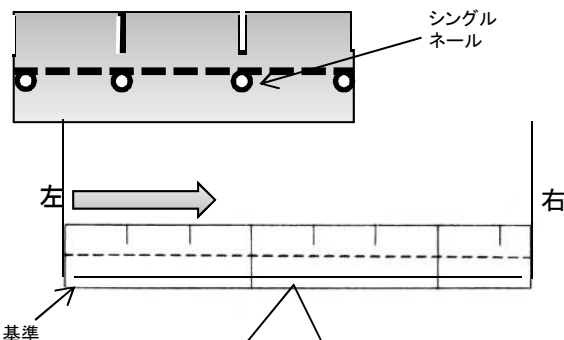


アスファルトシングル(オークリッジプロ クラシック)【各部名称および寸法】



1

アスファルトシングルを貼り始めます。最初の1列は、上下を逆にします。左から右に貼っていき、妻側と軒先は15ミリくらい出るようにします。反対側で余りが出るので、15mm妻側から出たところをカットします。アスファルトシングルはシングルネールで4か所打ちます。



軒先より15mm程
アスファルトシングルを出す。

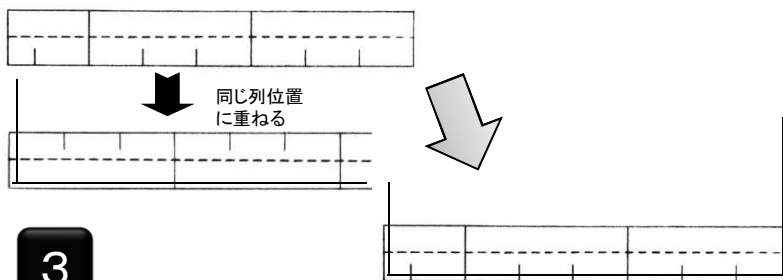
15mm出す



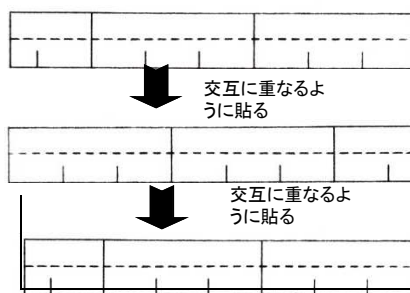
破風より15mm
程アスファルト
シングルを出す
します。

2

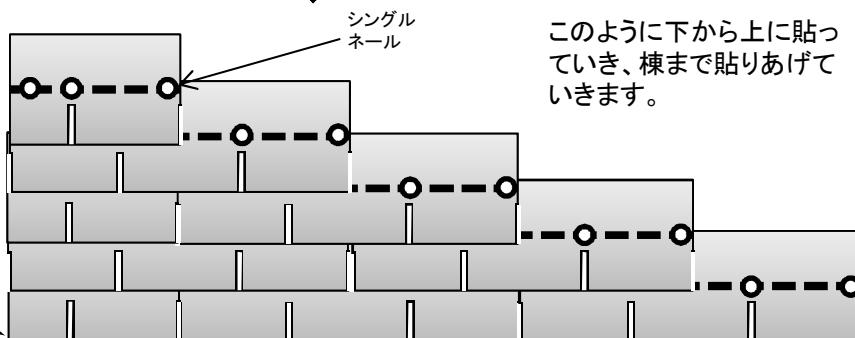
1列目と同じ位置にもう一列アスファルトシングルを重ねます。1列目は定尺で貼り始めているので、今度は真半分にカットした半物のアスファルトシングルを重ねはります。



3

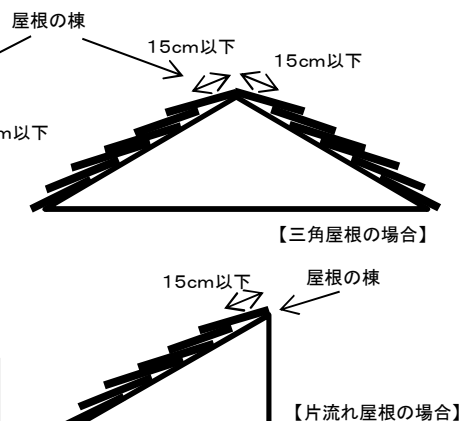
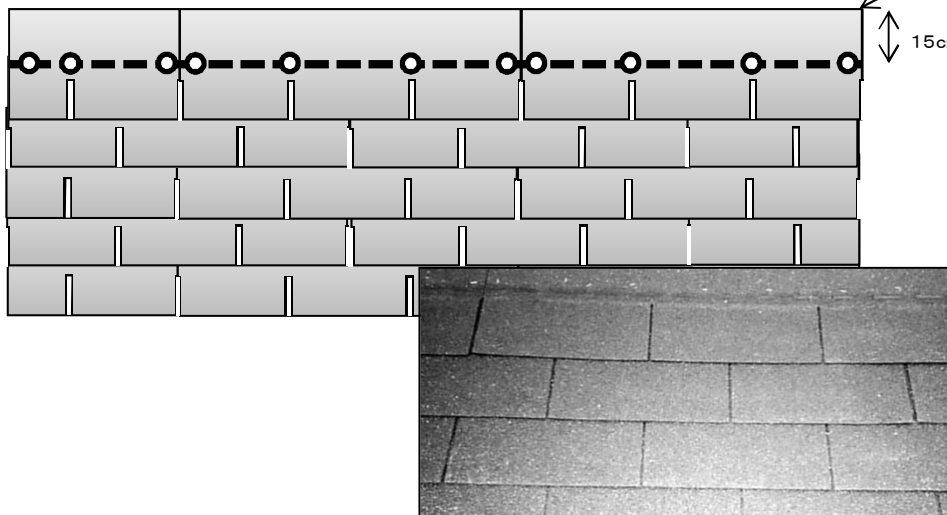


2列目は真物のアスファルトシングルで貼り始めます。1列目は半物、2列目は真物、3列目は半物という具合に、交互にスタートし、アスファルトシングルのスリット(切れ目)が千鳥に貼りあがるようにします。



4

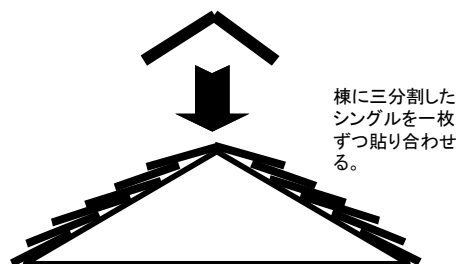
アスファルトシングルを屋根の棟まで貼りあげます。接着剤のラインから棟まで15cm以下になるまで貼りあげてください。



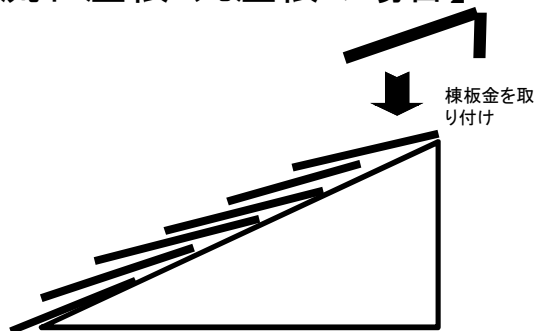
5

棟部分の屋根の取り付けを行います。片流れ屋根、丸屋根の場合は、板金で覆います。三角屋根の場合は、アスファルトシングルを三分割し、中央両側にかぶせるように一枚ずつ貼り合わせていきます。

【三角屋根の場合】



【片流れ屋根・丸屋根の場合】



スタートの釘頭は見えません。2列目以降は接着剤のところに釘を打ちます。その次の列の端が接着剤のところにカブさり、釘が見えなくなります。最後は接着剤の部分を切り取り、釘4本で貼り合わせます。



これで屋根の完成です！